

平成29年9月14日

熊谷学園 2-3 期 南京玉すだれクラブ(73回公演)報告

29.9.13 あねとす病院2～5病棟 深谷市人見

今年7月姉妹施設「介護療養型老人保健施設アルメリア」へ公演に伺った際、見学に来ていた「あねとす病院地域医療・介護連携室」の神倉さんのご依頼で、同施設の本部である「あねとす病院」での公演が予約され実現しました。今回は14時から約30分で2～5階病棟に入院されている患者さん30人への公演と14時50分からの同病院老人保健施設の利用者の約50人程の2回公演です。

午後1時20分に5人のメンバーが現地に集まり、病院内から神倉さんが迎えに来てくれました。今日の会場は2階の老人保健施設のホールで、控室の通され公演の準備をしました。2時少し前に既に皆さんが待っている会場に入りました。入院患者の方々でまだ元気な方と少し弱い方がおり、介護をする職員8人も同席です。

最初に若い職員堀口さんからクラブの紹介があり、こちら側から短く挨拶して公演が始まりました。最初は舩田さんの口上で始まる「南京玉すだれ」の演技です。演技の最初から会場の皆さんから手拍子をいただき、いろいろ変化する「玉すだれ」の形にビックリしていました。次に5人が自己紹介を、その後「玉すだれ」の動きのお話と根岸さんから得意技の披露があり、会場からはすぐに「モモです。」という元気な答えが返ってきました。その後栗原さんから「きよしのズンドコ節」を紹介し演技に移りました。「サザエさん体操」では職員4人が前に出て一緒に踊ってくれました。会場の皆さんは曲のリズムに合わせて、自分の動ける範囲で手足を動かしていました。最後に「東京五輪音頭」を演じ、少し疲れが感じられる様子を配慮し約30分の公演が終わりました。



